



アビダジャマハーラッタグル  
(正法によって国を導く偉大な師)



## バツダンタ ウ ケサラ大長老 による教え戒めの説法・2

通訳 バツダンタウニャーヌッタラ大長老

(2013年4月28日(日) ミャンマー国マハーアウンミーエ僧院)

積むべき功德とは、

1. 布施の功德 (Dāna ダーナ)
2. 戒律の功德 (Sīla シーラ)
3. サマタ瞑想の功德 (Samatha サマタ)
4. ヴィパッサナー瞑想の功德 (Vipassanā ヴィパッサナー)

この4つの功德が積むべき功德です。このことについて、一つ一つ説明しましょう。

### 4つの積むべき功德

#### 1. 布施の功德 (Dāna)

布施 (Dāna) とは、自分にある物・自分の財産に執着しないで手放す、捨てる、与えることをいいます。

- ①自分より徳と恩が高いブツダ・ダンマ・サンガ、戒・定・慧を實踐している人、自分より徳と年齢が高い人々に布施をする。
- ②自分と同じくらいの徳と恩がある人々に与える。
- ③自分より徳と恩が低い人々に施す。

この3つは“布施の功德”です。布施をするとき大切なことは、善い意志 (Cetanā) で布施することです。そのとき布施の功德を得ます。Cetanāとは“意志”という意味です。実はどのような行為でもCetanā “意志”によって行われます。歩く、座る、立つ、食べたり飲んだり

するときでも、人と話をするときでも、歩こう、座ろう、立とう、食べよう、話そうというCetanāという“意志”が常に働いています。

布施をするとき、物惜しみの心、もったいない心で、いやいやながら布施したらどうなるでしょうか？ 自分の布施をしようというCetanā “意志”が善くなければ、心に浄らかな心、喜びの心は生じません。本当の功德は得られません。どんな功德でも、功德を積むときには善い意志をもって、善いCetanā“意志”で心を込めて行うことが大切なことなのです。

善い意志を持って行う布施の功德は、欲界の善行為である“浄大善心”なので人間と六欲天への転生という結果を得ます。そこに生まれて生きているときも、自分の積んだ食べ物・飲み物の布施の功德のエネルギーによって、食べ物・飲み物に困らず、身につける服を布施した功德のエネルギーによって、服についても困らず、建物・土地を布施する功德のエネルギーによって、住む土地・建物について困らず、薬を布施した功德によって、身体は元気になります。このように“布施の功德”は高いですから、今現在、仏教徒である皆さんは、自分にできる“布施の功德”を行ってください。どんな布施でも、心を込めて善いCetanā“意志”で布施してください。

この“布施の功德”がすべての輪廻の苦しみから離れて涅槃への因縁になりますようにと念じて布施してください。

イーダン メ ブ ンニャン ニッバーナッサ パッチャヨー ホートゥ  
**Idaṃ me puññ a ṃ nibbānassa paccayo hotu.**  
この私の功德が涅槃への因縁になりますように

(次号へ続く)